



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

(氏名) 西村 武
 (氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	921	23.4	22		41		25	
2022年3月期第1四半期	747	3.5	0		1		2	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	18.25	
2022年3月期第1四半期	1.91	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	4,243	1,478	34.8	1,066.53
2022年3月期	4,109	1,456	35.4	1,050.85

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 1,478百万円 2022年3月期 1,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,751	11.0	64	196.5	70	238.4	41	282.8	29.70
通期	3,510	4.6	136	25.8	146	23.8	87	209.4	63.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,467,233 株	2022年3月期	1,467,233 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	80,973 株	2022年3月期	80,983 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	186,250 株	2022年3月期1Q	1,386,431 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が低水準で推移し、国内外において経済活動の抑制が緩和される中、企業の生産活動や設備投資には持直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢を背景とした資源価格等の高騰や為替市場での急激な円安、新たな変異株の発生による感染再拡大リスク等により、先行きは依然として不透明な状況が継続すると見込まれます。

このような状況下にあつて当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、コスト削減、工場の生産性を高める取り組みを継続・強化してまいりました。コロナによる制限が緩和されたことにより国内外の受注動向に改善の傾向が見られ積極的に営業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は921百万円（前年同四半期比23.4%増）、営業利益22百万円（前年同四半期営業損失0百万円）、経常利益41百万円（前年同四半期比2,686.8%増）、四半期純利益25百万円（前年同四半期四半期純損失2百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、食品機械業界向け等一部に減少がみられましたが、工作機械業界や搬送機械業界向けが大きく増加し、多くの業界向けに回復の兆しが見られました。一方、輸出においても、北米、アジア向けが大きく増加しました。これらの結果、売上高は862百万円（前年同四半期比26.2%増）、営業利益は51百万円（前年同四半期比112.0%増）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大を図る営業活動を継続してまいりました。その結果、売上高は53百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業利益は10百万円（前年同四半期比66.6%増）となりました。

③賃貸不動産事業

賃貸不動産事業につきましては、売上高は5百万円（前年同四半期比57.6%減）、営業利益は2百万円（前年同四半期比67.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、4,243百万円で、前期末に比べて133百万円増加しました。これは、前期末と比べ、現預金、製品棚卸が増加したこと等を主要因として、流動資産が2,523百万円と151百万円増加、また、固定資産が1,719百万円と18百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、2,764百万円で、前期末に比べて111百万円増加しました。これは、前期末と比べ、賞与の未払等の増加を主要因として、流動負債が1,570百万円と122百万円増加したこと（支払手形が48百万円、買掛金が59百万円増加）、また、固定負債が1,194百万円と10百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、1,478百万円で、前期末と比べ21百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前期末の35.4%から当第1四半期会計期間末は34.8%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間及び2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	389,452	491,476
受取手形、売掛金及び契約資産	1,131,071	1,137,195
商品及び製品	171,098	199,926
仕掛品	383,623	402,438
原材料及び貯蔵品	263,074	273,818
その他	34,449	19,070
貸倒引当金	△290	△290
流動資産合計	2,372,479	2,523,635
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	382,233	377,043
機械及び装置（純額）	484,392	487,086
土地	339,490	339,490
建設仮勘定	100,878	85,991
その他（純額）	63,349	65,165
有形固定資産合計	1,370,343	1,354,777
無形固定資産	35,158	33,425
投資その他の資産		
投資有価証券	92,113	88,997
その他	239,889	242,169
投資その他の資産合計	332,002	331,167
固定資産合計	1,737,505	1,719,370
資産合計	4,109,985	4,243,006

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	493,471	542,010
買掛金	178,969	238,848
短期借入金	437,244	449,066
未払法人税等	51,713	28,262
契約負債	28,439	15,727
賞与引当金	42,183	13,658
その他	215,961	282,650
流動負債合計	1,447,983	1,570,224
固定負債		
長期借入金	852,695	872,382
退職給付引当金	306,215	294,025
役員退職慰労引当金	27,890	27,890
その他	18,467	—
固定負債合計	1,205,268	1,194,298
負債合計	2,653,252	2,764,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	265,111	290,406
自己株式	△50,433	△50,433
株主資本合計	1,449,857	1,475,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,875	3,331
評価・換算差額等合計	6,875	3,331
純資産合計	1,456,733	1,478,483
負債純資産合計	4,109,985	4,243,006

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	747,021	921,638
売上原価	637,393	771,130
売上総利益	109,627	150,508
販売費及び一般管理費	110,389	128,403
営業利益又は営業損失(△)	△762	22,105
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	2,794	3,061
為替差益	887	11,729
保険解約返戻金	456	5,630
その他	825	1,334
営業外収益合計	4,968	21,760
営業外費用		
支払利息	2,699	2,023
その他	6	2
営業外費用合計	2,705	2,025
経常利益	1,501	41,839
特別利益		
固定資産売却益	—	121
特別利益合計	—	121
特別損失		
固定資産廃棄損	172	0
特別損失合計	172	0
税引前四半期純利益	1,328	41,960
法人税、住民税及び事業税	15,427	22,578
法人税等調整額	△11,445	△5,912
法人税等合計	3,982	16,665
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,654	25,295

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	683,030	49,928	14,062	747,021	—	747,021
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	683,030	49,928	14,062	747,021	—	747,021
セグメント利益	24,071	6,461	8,143	38,677	△39,439	△762

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	862,168	53,509	5,960	921,638	—	921,638
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	862,168	53,509	5,960	921,638	—	921,638
セグメント利益	51,027	10,763	2,615	64,406	△42,301	22,105

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。